

一方、議会としても土砂採取に係る予算を承認した責任の一端を認め、反省するとともに、町に対して再発防止策を明確にし、町民への説明責任を果たした上で、早急に今後の方向性を示すよう求めました。

その後、令和6年1月、地域振興施設を伴う「道の駅」の計画を中止し、「広野町防災の駅整備事業」構想に変更。基本計画の策定を進め、令和8年5月の議会全員協議会で説明が行われました。

これまで「防災拠点・道の駅ひろの整備事業」「広野町防災の駅整備事業」に、平成26年度から令和7年度までで、約10億5千万円の事業費が支出されています。

